

2月避難訓練 実施案

堀船小学校 生活指導部

- 1 **ねらい**
地震避難の基本的行動を身に付ける。
- 2 **日時**
令和7年2月17日（月） 10:30～11:00（20分休み中）
- 3 **準備物（担当）**
放送（副校長） 児童数確認表（副校長） 出席簿（担任）
緊急地震速報（生活指導主任）
- 4 **避難経路の制限**
制限なし。一番近い階段を使用する。
- 5 **校内巡視の担当**
1階…事務 2階…主事 3階…主事 4階…主事
- 6 **訓練の実際**

① 休み時間中に緊急放送が入る。

② 職員、児童は私語をやめ、指示命令を聞き、おかしもの約束を守り、速やかに避難行動をとる。

③ 校庭に避難し、人員確認を行う。

④ 学校長の話

⑤ 各教室で緊急地震速報が流れたときの指導をする。

【想定】

・ 休み時間中の地震発生

※緊急地震速報

・ 児童への日時の予告なし

【避難場所】 校庭（校章旗前）

【雨天時】 教室（放送）

	時間の推移		・ 児童の動き	○教職員の動き
事前 指導			・ 2月の安全指導で、地震の避難の仕方を確認する。	※今回の避難訓練は予告しない。
避難 訓練	【事案発生】 🎵緊急地震速報、地震の効果音 「訓練。訓練。緊急地震速報がありました。この後、大きな自信が来る可能性があります。校庭にいる児童は、校庭の中央に避難します。校舎内にいる児童は、物が落ちてこない、倒れてこない場所に身を寄せて、手で頭をおおって座ります。」もう一度くり返します。		・ 伝達内容を聞き、状況を把握するとともに、これからどのように、避難するかを知る。	○児童に指示をし、安全な避難行動をさせる。
	(少しの時間の後) <教室に戻って、人員確認> 「揺れが収まったので、教室で人員確認をします。防災頭巾が近くにあれば、防災頭巾をかぶります。「おかしもの約束を守り、安全に気を付けながら教室に戻ります。近くにいる先生方の指示に従い、あわてず教室に戻ります。避難開始。」		【校庭】 ・ 教職員の指示に従い、校庭中央に避難する。 【校舎内】 ・ 発生時にいる場所に応じて、適切な安全確保をする。	
			発生時にいる場所によって避難パターンが異なります。	
			【校庭】 ・ 教職員の指示に従って、第1昇降口、第2昇降口から教室に戻る。 ※外履きのまま戻る。 【校舎内】 ・ 危険箇所を気を付けながら、教室に戻る。	【校庭】 ・ 教職員は第1昇降口、第2昇降口から戻る児童を分担して、誘導する。 【校舎内】 ・ 危険箇所を確認しながら、児童を教室に戻らせる。

	【担任が人員確認 →校内巡視の教職員に報告 →校内巡視の教職員が本部に報告】		○担任は人員を確認し、校内巡視の教職員に報告し、教室で待機する。 ○異状の有無に関係なく、校舎内の巡視をする。 ○校内巡視の教職員は、担当の階のクラスの人員、危険箇所を、本部（副校長）に報告をする。 「○年○組 在籍○名、欠席○、異状なし。」
	【安否確認】 △トラブル発生 3年1組の児童1人、安否確認が取れない。  【児童発見】 【学校長の話】	・講話を聞く。	・校長から放送で、安否確認が取れていない児童がいることを全校（大人も子供も）に伝える。 →搜索方法について、校長から教職員に指示を出す。 搜索：校内の搜索 児童管理：児童管理（学年で子供たちを見る） ・搜索児童が見つかったことを、校長から全校に伝える。
事後指導		・今日の訓練を振り返る。	○自助の大切さを伝える。

☆ 発災時、どこにいても、どのような状況でも、自分の力で避難することの大切さ
…「怖くて動けなかった」では、ダメ！